

経営計画を作って **補助金GET!**

持続化補助金・ものづくり補助金活用のための

経営計画作成 セミナー

2019

3/8 金・**12** 火

18:30 ~ 20:30

坂井市商工会本所2階
(坂井市坂井町下新庄2-10-1)

講師

ウィンクル 代表
塩山 徳宏 氏 (中小企業診断士)

内容

1日目

補助金制度の意図、補助金の活用事例、
採択されるストーリー作成講座

2日目

ここがポイント! 

採択される経営計画(申請書)作成講座

◆ 持続化補助金とは?

小規模事業者が経営計画に基づいて行う
販路拡大や販売促進に必要な経費に対する
補助金。

補助率
2 / 3 (上限 50 万円)

対象となる取り組み例

- ◎ 販促用のチラシの作成、配布
- ◎ ネット広告、ホームページの作成・改修
- ◎ 集客力を高めるための店舗改装
- ◎ 商品パッケージ等の改良

◆ ものづくり補助金とは?

革新的なサービス開発・試作品開発・生
産プロセス改善のための設備投資等に対す
る補助金。

補助率
.....

一般型 1 / 2 (上限 1,000 万円)

小規模型 2 / 3 (上限 500 万円)

裏面に活用事例を掲載していますのでご覧ください→

補助金活用経営計画作成セミナー申込書

(3/5 締切) お申込はFAXにてお願いします。

坂井市商工会本所

FAX : 0776-67-7023

事業所名		参加者名①	
業種		参加者名②	
TEL		参加日	<input type="checkbox"/> 1日目 (3/8) <input type="checkbox"/> 2日目 (3/12)
FAX			<input type="checkbox"/> 両日 (3/8、3/12)

補助金活用事例

持続化補助金：新商品開発

飲食業（ワインバー）



会社概要

手頃に飲めるポルトガルワインと地元食材を使った洋食が人気のバー。地元客はもとより県外からの観光客も訪れる。

事業内容

近年女性の社会進出等により中食文化が定着しつつある現状を踏まえ、地元の食材を使った常温で保存可能なレトルト食品「手作りサバパテ」「手作りイワシパテ」の開発・販売を行い、新たな収益源の確保と販路開拓を目指した。

事業成果等

- 新商品の開発により、天候や時期に左右されやすい飲食の収益以外での継続的な売上を確保できるようになり、経営の安定につながった。
- 新商品がメディアで取り上げられたり、お土産店で扱われるようになったことで、店舗の知名度向上につながった。
- 今後は、首都圏のアンテナショップや県内の道の駅等への販路開拓を進め、更なる売上の増加を目指す。

持続化補助金：新たな販路開拓手法

電気工事・電気製品小売業（電気店）



会社概要

電気工事の下請けや公共工事、電気製品の小売を行っている。電気製品のPRを視野に料理教室の開催を行い、家電の相談・受注が増加している。

事業内容

- 自社の認知度向上と商圈拡大のため、近隣のスーパーマーケットやメーカーのショールームでの調理家電を使った出張料理教室を実施。それに併せ、電気機器や電気代、オール電化の相談窓口を開設し、顧客・受注の開拓を図った。
- チラシやポストカードを作成し、ポスティングや新聞折込みで料理教室と相談窓口の集客を行った。

事業成果等

- 創業70年の老舗電気店として古くから地域に親しまれてきたが、地元から商圈を広げることが課題となっていた。出張料理教室を通して新たな地域の顧客を獲得し、自社をPRすることができた。また、売上の増加にも繋がった。
- 今回の取り組みを機にスーパーマーケットからの省エネ商品や電気工事の受注の可能性も広がった。

持続化補助金：新サービスの提供

食品品製造業（洋菓子店）



会社概要

昭和55年創業。パンや洋菓子の製造販売を行っている。店舗前には健康祈願で有名な神社があり、神社とのコラボ商品も販売している。

事業内容

- 生ケーキに手書きで行っているデコレーションサービスをクッキー等の焼き菓子に手書き・プリントで対応するカスタマイズ型デコレーションサービスを開始した。
- パンフレットを作成し、観光拠点に設置しPR、店舗の外に看板を設置して、商品PRを行った。

事業成果等

- パンフレットや看板の設置で、これまで取り込めていなかった顧客からの売上げ増加につながった。
- 後継者主体で事業を進めた結果、後継者に経営者としての意識が芽生えた。
- 日持ちする商品開発の結果、従業員の作業待機時間が短縮し稼働率が向上した。

ものづくり補助金：IoT・生産性向上

金属加工業（建築装飾金物・ステンレス）



会社概要

明治35年ブリキ店として創業し、ブリキの板金加工を行うようになった。後に素材がステンレスに変わり、以来様々な金属を扱い精密板金から溶接、塗装、組立まで社内一環体制で生産している。

事業内容

切削設備を導入し社内LANに接続させることで切削及び板金工程のネットワーク化を実現するとともに、曲げ工程に設備を導入しブランク工程と曲げ工程をIoT化（監視・保守・分析）することで生産性向上を図る。

事業成果等

ハイブリッドベンダーの導入により曲げ工程の精度向上と加工時間短縮が可能となり、ブランク・曲げ工程のIoT化が実現できた。また、ロボドリルと最新のCAD/CAMを導入し切削工程を社内LAN化したことで、社内全体のLAN化が実現でき、大幅なコストダウンと生産性の向上につながった。